

くさびら

泉鏡太郎

青空文庫

御馳走には季春がまだ早いが、たゞ見るだけなら何時でも構はない。食料に成る成らないは別として、今頃の梅雨には種々の茸がよきくと野山に生える。野山に、によきくと、と言つて、あの形を想ふと、何となく滑稽けてきこえて、大分安んちよくあつかひ直に扱ふやうだけれども、飛んでもない事、あれでなかく凄味がある。せんねん、麴町の土手三番町の堀端寄に住んだ借家は、太い湿氣で、遁出すやうに引越した事がある。一體三間ばかりの棟割長屋に、八疊も、京間で廣々として、柱に唐草彫の釘かくしなどがあらうと言ふ、書院づくりの一座敷を、無理に附着けて、屋賃をお邸なみにしたのであるから、天井は高いが、床は低い。——大掃除の時に、床板を剥すと、下は水溜に成つて居て、溢れたのがちよろくと蜘蛛も手で走つたのだから可恐い。此の邸……いや此の座敷へ茸が出た。

生えた……などと尋常な事は言ふまい。「出た」とおぼけらしく話したい。五月雨のしとくとする時分、家内が朝の間、掃除をする時、縁のあかりで氣が着くと、疊のへりを横縦にすつと一列に並んで、小さい雨垂に足の生えたやうなものの群り出たのを、黴にしては寸法が長し、と横に透すと、まあ、怪しからぬ、悉く茸であつた。細

い針ほどな侏儒が、一つく、と、歩行き出しさうな氣勢がある。吃驚して、煮湯で雑巾を絞つて、よく拭つて、先づ退治た。が、暮方の掃除に視ると、同じやうに、ずらりと並んで揃つて出て居た。此が茸なればこそ、目もまはさずに、じつと堪へて私には話さずに祕して居た。私が臆病だからである。

何しろ梅雨あけ早々に其家は引越した。が、……私とはあとで聞いて身ぶるひした。むかしは加州山中の温泉宿に、住居の大圍爐裡に、灰の中から、笠のかこみ一尺ばかりの眞黒な茸が三本づゝ、續けて五日も生えた、と言ふのが、手近な三州奇談に出て居る。家族は一統、加持よ祈禱よ、と青くなつて騒いだが、私に似ない其主人、膽が据つて聊かも騒がない。茸だから生えると言つて、むしつては捨て、むしつては捨てたので、やがて妖は留んで、一家に何事の觸りもなかつた——鐵心銷怪。偉い！……と其の編者は賞めて居る。私は笑はれても仕方がない。成程、其の八疊に轉寢をすると、とろりとすると下腹がチクリと疼んだ。針のやうな茸が洒落に突いたのであらうと思つて、もう一度身ぶるひすると同時に、何うやら其の茸が、一づゝ芥子ほどの目を剥いて、ペろりと舌を出して、店賃の安値いのを嘲笑つて居たやうで、少々癩だが、しかし可笑い。可笑いが、氣味が悪い。

能の狂言に「茸」がある。——山家あたりに住むものが、邸中、座敷まで大きな茸が幾つともなく出て祟るのに困じて、大峰葛城を渡つた知音の山伏を頼んで來ると、「それ、山伏と言つば山伏なり、何と殊勝なか。」と先づ威張つて、兜巾を傾け、いらたかの數珠を揉みに揉んで、祈るほどに、祈るほどに、祈れば祈るほど、大きな茸の、あれ〜思ひなしか、目鼻手足のやうなものの見えるのが、おびたゞしく出て、したゝか仇をなし、引着いて惱ませる。「いで、此上は、茄子の印を結んで掛け、いろはにほへとと祈るならば、なか奇特のなかるべき、なか、ちりぬるをわかんなれ。」と祈る時、傘を半びらきにした、中にも毒々しい魔形なのが、二の松へ這つて出る。此にぎよつとしながら、いま一祈り祈りかけると、その茸、傘を開いてスツクと立ち、躍りかゝつて、「ゆるせ、」と逃げ、る山伏を、「取つて噛まう、取つて噛まう。」と脅すのである。——彼等を輕んずる人間に對して、茸のために氣を吐いたものである。臆病な癖に私はすきだ。

そこで茸の扮装は、縞の着附、括袴、腰帶、脚絆で、見徳、嘯吹、上髯の面を被る。その傘の逸もつが、鬼頭巾で武悪の面ださうである。岩茸、灰茸、鳶茸、坊主茸の類であらう。いづれも、塗笠、檜笠、菅笠、坊主笠を被つて出

ると言ふ。……此の狂言はまだ見ないが、古寺の廣室の雨、孤屋の霧のたそがれ
 を舞臺にして、ずらりと此の形で並んだら、並んだだけで、おもしろからう。……中に、
 紅絹の切に、白い顔の目ばかり出して、袿折笠の姿がある。紅茸らしい。あの露を帯び
 た色は、幽に光をさへ放つて、たとへば、妖女の艶がある。庭に植ゑたいくらゐに思ふ。
 食べるのぢやあないから——茸よ、取つて噛むなよ、取つて噛むなよ。……

大正十二年六月

青空文庫情報

底本：「鏡花全集 卷二十七」岩波書店

1942（昭和17）年10月20日第1刷発行

1988（昭和63）年11月2日第3刷発行

※題名の下にあった年代の注を、最後に移しました。

入力：門田裕志

校正：川山隆

2011年8月6日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

くさびら

泉鏡太郎

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>